

世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ整備案

平成25年3月現在

■ ワークショップ開催までの経緯

世田谷代田駅の駅前広場については、平成12年度より地域の皆さまのご意見をいただきながら、鉄道事業者、交通管理者（警視庁）等との調整・協議を進め、平成22年3月に駅前広場整備計画（駅前広場として整備する範囲や広場内の道路の位置等を定めたもの）を策定しました。

- 平成12年度 駅前広場についてのアンケート調査を実施
- 平成13年度 駅前広場構想を策定
- 平成19年度 地域の活動団体「SAP」*がワークショップ等を経てまとめた、2案の駅前広場整備提案を区に提出
*正式名称は、「世田谷代田を住みよく安心なまちにしよう！プロジェクト実行委員会」
- 平成20年度 区民提案を受けて、アンケート調査を実施
- 平成21年度 駅前広場整備計画を策定

この駅前広場整備計画をもとに、駅前広場に設置する施設（舗装・植栽・案内板）等のしつらえについて、地域の皆さまと一緒に考える駅前広場ワークショップを平成24年度に開催しました。

■ ワークショップ参加者の募集

- 募集対象 「世田谷代田駅周辺にお住まいの方」又は「世田谷代田駅を利用されている方」で、3回のワークショップに出席可能な方
- 周知方法 「世田谷代田駅周辺まちづくりニュース第3号」の発行及び区ホームページに掲載
- 募集期間 平成24年8月25日(土)～9月5日(水) [12日間]
- 応募方法 せたがやコールへ事前申込み制

■ ワークショップでの検討経過

- 第1回 テーマ「経緯を知る」 平成24年9月30日(日) 開催

これまでの駅前広場の検討の経緯と「駅前広場整備計画」を事務局から説明した後、駅前広場のしつらえについて3班のグループに分かれて図面にふせんを貼りながら意見交換しました。

- 第2回 テーマ「しつらえを考える」 平成24年11月18日(日) 開催

第1回の意見を整理した内容を確認した後、駅前広場に設置する施設として植栽・ベンチ等の配置や仕様について、模型を使ったデザインゲームで検討しました。

- 第3回 テーマ「整備案をまとめる」 平成25年1月20日(日) 開催

第2回で頂いた意見から作成した整備検討案を確認して、掲示板・花壇・樹木等の配置や樹種などについて意見交換し、ワークショップ整備案として取りまとめました。

■ ワークショップで検討したこと

全3回のワークショップでは、主に下記の点について話し合い、検討が行われました。

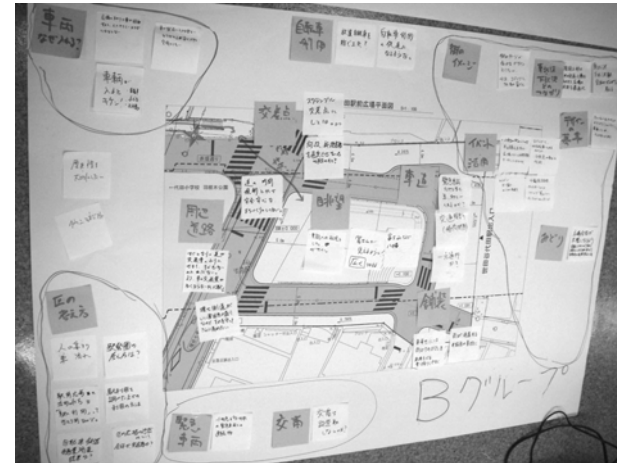
- ① 広場 : 広場の使い方、施設配置のイメージ等
- ② 道路 : 舗装のイメージ、駅前広場内の高低差処理等
- ③ みどり : 植栽の配置、樹種等
- ④ 施設 : モニュメント、ベンチ、案内板等の必要性
- ⑤ 防災施設 : 災害時に必要な機能、マンホールトイレの設置等
- ⑥ その他 : 駅周辺の交通規制、上部利用計画との関係等

■ 今後の予定

このワークショップ整備案の内容をふまえて、平成24年度は駅前広場の基本設計を進めるとともに、「世田谷代田駅周辺まちづくりニュース」を発行して、地域の皆さまにお知らせします。

また、「今後の留意事項」とした内容については関係機関との調整・協議を行い、実施設計を行った後、整備(工事)を行う予定です。

■ ワークショップの風景



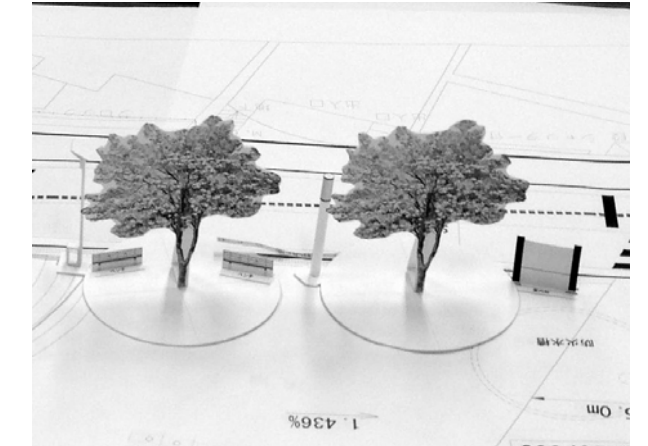
3班のグループに分かれて、意見をふせんに書いて交換しました。(第1回)



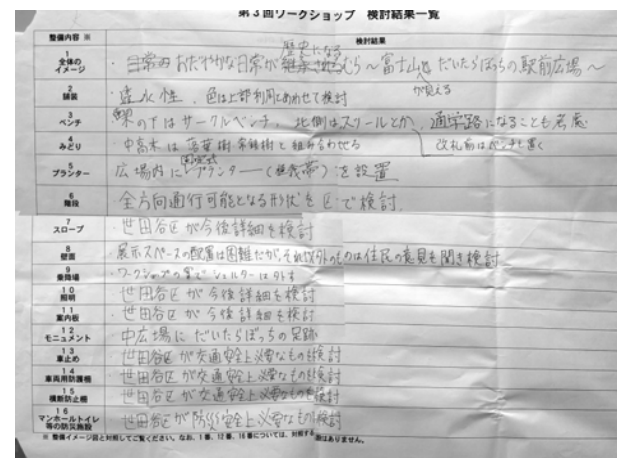
グループで意見交換した内容を全体で発表を行い、共有しました。(第1回)



模型を使ったデザインゲームで、広場内に設置する施設の配置を検討しました。(第2回)



デザインゲームで使用した縮尺1/60の掲示板、ベンチ、植栽等の模型。(第2回)



整備計画案に対してご意見を頂き、ワークショップ整備案を取りまとめました。(第3回)



ワークショップ整備案のコンセプトとして、穏やかな、富士山が見える、歴史の継承などのキーワードを頂きました。(第3回)

■ ワークショップでいただいたご意見とワークショップ整備案への反映

第1回ワークショップ(9月30日)の検討内容		第2回ワークショップ(11月18日)の検討内容		第3回ワークショップ(1月20日)の検討内容			
第1回で頂いたご意見 A, B, Cは発言のあったグループ名		第2回(デザインゲーム)で頂いたご意見	意見のとりまとめ	整備箇所・整備内容	第2回までの意見で作成した整備検討案に反映した整備内容	第3回で頂いたご意見 ●は参加者の意見 下線は、世田谷区からの提案・助言	ワークショップ整備案への反映結果
駅前広場の整備	舗装	●雨が浸透する路面の素材に(舗装) B ●歩道と広場の仕上げ 使い分け C ●シンプルな舗装(広場)(歩道) C ●広場の地面は芝などの天然 C	●タイル、モザイクチップ階段の立ちあがり、西日が当たる、キラキラ ●広場仕上げをやわらかい物では ●ゴムチップ	① 舗装	・歩行者の安全性、快適性を確保するため、歩道には平坦性、滑りにくさ、水はけの良さに考慮した材料を検討します ・歩道の舗装材の色などによりやわらかさを演出できるよう考慮します ・車道については、透水性の舗装とします	《歩道》 ●ゴムチップ→コスト大、耐久性に難がある ●北沢川緑道の様なイメージも良い ●中広場の部分は子供が遊べるように ●透水性のものを ・インターロッキングブロックなどがある ●平版→おしやれ 《色》 ●駅舎(ガラス張り、透明感)と合ったものが良い ●柱の色が駅ごとに異なる(例…田園都市線)→世田谷代田の駅の色と合わせるイメージカラーを考える ●歩道の舗装は上部利用部の通路と色を合わせる(グラデーションなども)	①歩道は透水性ブロックで舗装し、色は上部利用との連続性を考慮
	ベンチ	●ベンチがほしいが、寝ころがれないような物に C	●待ち合わせ→駅近く ●ガードパイプをすわれる様に ●ベンチの位置は、駅舎の近くと広場の中に ●かまどベンチが良い ●かまどベンチ、マンホールトイレなどはいらないのでは？ ●かまどベンチは上部との調整 数とか？	② ベンチ	・中央の広場など、歩行者の通行の邪魔にならない位置の配置の検討をします	・横長・スツール・サークルなどベンチの形を決めたい ●南側の高木まわりは、サークルベンチを半分ずつサークルベンチは木の保護にもなる、木を端によせ半円のベンチを設置 ●北側は木のまわりにスツールとか ●通学路→学生の利用も考えて(かばんをおいたり)少し大きめに ●改札前ベンチ→ふつうの長ベンチ ●低すぎるのと膝にくる、腰高のサポートベンチが良い	②広場の南側の高木の周りにはサークルベンチ、北側の擁壁前にスツールを配置(北と南で雰囲気を変える) また、改札前の植栽帯の前にもベンチを設置
	みどり	●高、中木をバランス良く A ●グリーンラインとしての連続性の確保 A ●広場全体が木陰になるよう 常緑(シラカシなど)多めに B ●常緑樹にすれば日陰になり風も防げる B ●日陰になる高木がぜひ西角に欲しい C ●(視界をジャマしない程度の) (日陰) 高木になる植栽 C ●神社のような雰囲気、土、樹木 A ●みどりを置くことで防災時の延焼防止に B ●小学生や街の人による木を植えるなど、広場作りを体験で行ってはどうか B ●低木の部分には花を植えられるようにしたらどうか C ●地域の方が花を育てられる場所を作る C ●神社のような雰囲気、土、樹木 A ●収穫祭によるイベント(エディブル(食用の意)) B	●日陰がほしい ベンチと木をペアで ●「高木」そんなに大きくなく小さいもの ●世田谷代田の駅だけちょっと違う樹種でも良い ●根津山の雑木、しい(大きすぎる)、たぶ、かし ●地元で育った木を持ってきてはどうか？ ●「みどり」通路の緑、他との連続性 夏場は大きな木、日陰 ●広場には大きな木はいらない グリーンラインで考えているから ●みんなで世話できる花壇 →散水栓、道具入れ ●花壇は管理むずかしいのでは ●移動できるプランターとかは	③ みどり	・「世田谷みどり33」を推進し、広場の美しさや世田谷代田地区の歴史や風土を演出するため、可能な限り中高木の配置を検討します	●高木…落葉とか→富士山が見たい、中木…常緑 ●色々な種類をおりませる様に ●配置はこの図で了解 ●北側中木→樹種により検討 ●横に広がるような(壁面的に) つる、藤も良いのでは？ ●北側と南側で雰囲気を変える	③中高木は代田にふさわしい樹種で落葉樹と常緑樹を組み合わせ
	高低差処理	●ゆっくり階段を下りたい C ●階段で段差解消したい(広場のフラットがほしい) C ●広場内の傾斜は出来るだけ小さくして欲しい C ●階段上をステージに A ●スロープは10%以内に A	●階段にスロープがあると自転車と呼ぶような物ではないか ●広場に自転車入れるのか(階段のスロープ)→シルバーカーも使えるのか ●司会者が立てるようなステージがほしい ●富士山を見れるポイントがあれば、広場に高いところはいらんのでは ●スロープをもっと広くしてはどうか？真ん中の部分 ●スロープの途中にたまりをそこに、モニュメントを ●たまりの立ち上がりの側面に何かできないか	④ プランター・植栽帯	・固定式のプランターについても検討します ・地域の住民が参加して管理を行うしくみができれば、花壇の設置も可能です	・東北駅では、移動式でも重量があり移動が困難と考へ、固定式を提案 ●移動式のもの →区、又は住民の管理かを選択 ●北側歩道部は植栽帯で了解 ●広場も植栽帯で考える ●散水栓、スコップ置場があるといい	④協定等により住民グループが維持管理する花壇として、広場内には固定式プランター又は植栽帯(立上型)を、歩車道の間には横断抑止を兼ねて幅50cm程度の植栽帯(立上型)を設置
				⑤ 階段	・視覚障害者の安全にも配慮して、曲面で構成しない階段を検討します(平面の階段より踏み外し等の危険性が高い) ・車椅子が通行可能なスロープがあるので、階段の脇に斜路が必要か検討します ・階段上部に歩行者動線に影響しない範囲で広い空間の配置を検討します	・ユニバーサルデザインを考慮して検討する ●放射状に広がるイメージは残す ●自転車用スロープは必要か ●広場に自転車が入らない配慮 ●多方面からのほれるようにしたい(扇の形状) →扇形状の中で直線階段、余空間は植栽帯等もう少し検討する	⑤扇状に広がるイメージを残し、三方向に広がる階段を設置
				⑥ スロープ	・ユニバーサルデザイン整備基準に基づき、スロープの両側に手摺を設置した上で、有効幅員2mを確保します(世田谷区ユニバーサルデザイン整備基準では、幅は120cm以上、勾配は20分の1以下、高さ75cmを越える場合は長さ180cm以上の踊り場を設置)	●イメージ図の通り	⑥広場内に車椅子同士がすれ違える幅員2.5mのスロープを設置し、中間のコナー部には休憩空間を設置
				⑦ 壁面	・高さの検討を行った結果、壁の高さは60cm程度以下になる予定です 壁面の利用や仕様について検討します ・壁面に沿わせて植栽を配置することも可能です	●将来、陶板など学校や地域で作ることできるように ・将来要望等があった時に、活用できるようシンプルな整備にする 例えば、環七の壁面 ・ガラス扉を配置する展示方法は安全上や管理上好ましくない	⑦広場に面する擁壁は、地域の意見や要望を取り入れたデザインや利用ができるようにシンプルに整備

第1回ワークショップ(9月30日)の検討内容		第2回ワークショップ(11月18日)の検討内容		第3回ワークショップ(1月20日)の検討内容			
第1回で頂いたご意見 A, B, Cは発言のあったグループ名		第2回(デザインゲーム)で頂いたご意見		整備箇所 整備内容	第2回までの意見で作成した 整備検討案に反映した整備内容	第3回で頂いたご意見 ●は参加者の意見 下線は、世田谷区からの提案・助言	ワークショップ 整備案への 反映結果
駅前広場の整備 配置したい施設・設備	雨よけの庇	●車寄せには雨よけの庇を 車椅子でも乗り降りしやすく B	庇 ●屋根は大きいほうがいい 駅まで傘をささないように	⑧ (シエ乗降ターム)	・駅舎と駅前広場からの見通しや維持管理を考え、ひさし(シエルター)の設置の有無や整備規模を検討します	・交通量が少ない ・乗降口から改札口までの距離が短い	⑧乗降場に雨よけは非設置
	案内板	●案内板がほしい (デジタル時計付) 腰高 C ●時計台の設置を A ●電源確保 イルミネーション・フラッグ等のパー・インフォメーションボード B	案内板 ●駅前と広場の入り口にほしい(地図など) 乗る人と降りる人用 ●案内板の中に時計(腰の低い物) また、代田の由来なども入れたほうが良い ●小田急の駅舎に案内板があれば良い 駅前はいい ●案内板(町内板、地図、由来) 駅舎の中、駅広の中に入れる (駅の地図)	⑨ 案内板	・駅舎からの動線を考慮した位置に設置を検討します ・車椅子利用者からも見ることができる施設とします	・場所については検討→イメージ図の通り	⑨改札前に必要な案内板を設置
	モニュメント	●モニュメントがほしい(代田の歴史) だいたらぼっち C	(特になし)	⑩ モニュメント	・地域の要望で地域の団体が設置者として許可申請を行い、設置した事例があります ・舗装パターン等で歴史を感じさせる空間とすることもできます	●小田急があったことを残すもの(線路の絵) ●世田谷代田のシンボリックなもの ●ダイダラボッチの足あと(舗装の色を替える)を 広場にかか (踏まれて地面が下がった(高低差)イメージ) ●ダイダラボッチと富士山を紹介する案内板 ●台座の上に何かのっているもの	⑩広場のモニュメントとして、舗装面にダイダラボッチの足跡を表示し、由来等の案内板を広場内に設置
	防災	●マンホールトイレ、防水水槽は必要→設置をうまく工夫する A ●防災倉庫は(井戸)全体的に足りなければ必要(バランス良く) C	(特になし)	⑪ 防災施設	・周辺環境や連続する上部利用計画に合わせて、検討します	(了解)	⑪防水水槽等の防災施設は、上部利用計画にあわせて必要な施設を設置
	照明	●圧迫感を抑えた足元灯にした C ●エリアの外は外灯、広場は足元照明 C ●夜の歩行者の安全性の確保 C ●環境に配慮したソーラー付 C	照明 ●フットライト(歩道) 今は店舗で明るい、なくなった場合も考えて ●街路灯、ほんのり明るい あまり、こうこうとしているのではなく、防犯上最低限に ●太陽光照明と一般の照明を組み合わせると 太陽光はどれくらい使えるのか? 使えるのなら、あると便利	◎ 照明	・駅前広場の必要照度5ルクス以上確保できるように考慮して設置を検討します	(了解)	・交通安全上、必要なものを設置
	車止め	●ペーじャやグレーの目立たない車止め(ライト付き) C		◎ 車止め	・歩行者の安全を確保し違法駐車を防ぐため、必要な箇所には車止めを設置します	(了解)	・交通安全上、必要なものを設置
	その他	●ボリスボックス 設置安全(交番) C ●雨水利用施設の設置(経堂の構型のタンクではないものを…) C ●イベントの際の水場がほしい C ●ファニチャー(ベンチ等の設置物)をアーティストのコンペティション募集にしては インパクトがある B ●一時的な自転車置き場 南側 C ●自転車利用を促進するような自転車置き場 B		◎ 防車護欄	・中央広場と車道には高低差があるため車両が転落しないように車両用防護欄(ガードレール)を設置します	(了解)	・交通安全上、必要なものを設置
			◎ 抑止柵	・歩行者の横断や違法駐車を防ぐため、横断抑止柵を設置します ・製品は世田谷区の標準品を基本として考えます	(了解)	・交通安全上、必要なものを設置	

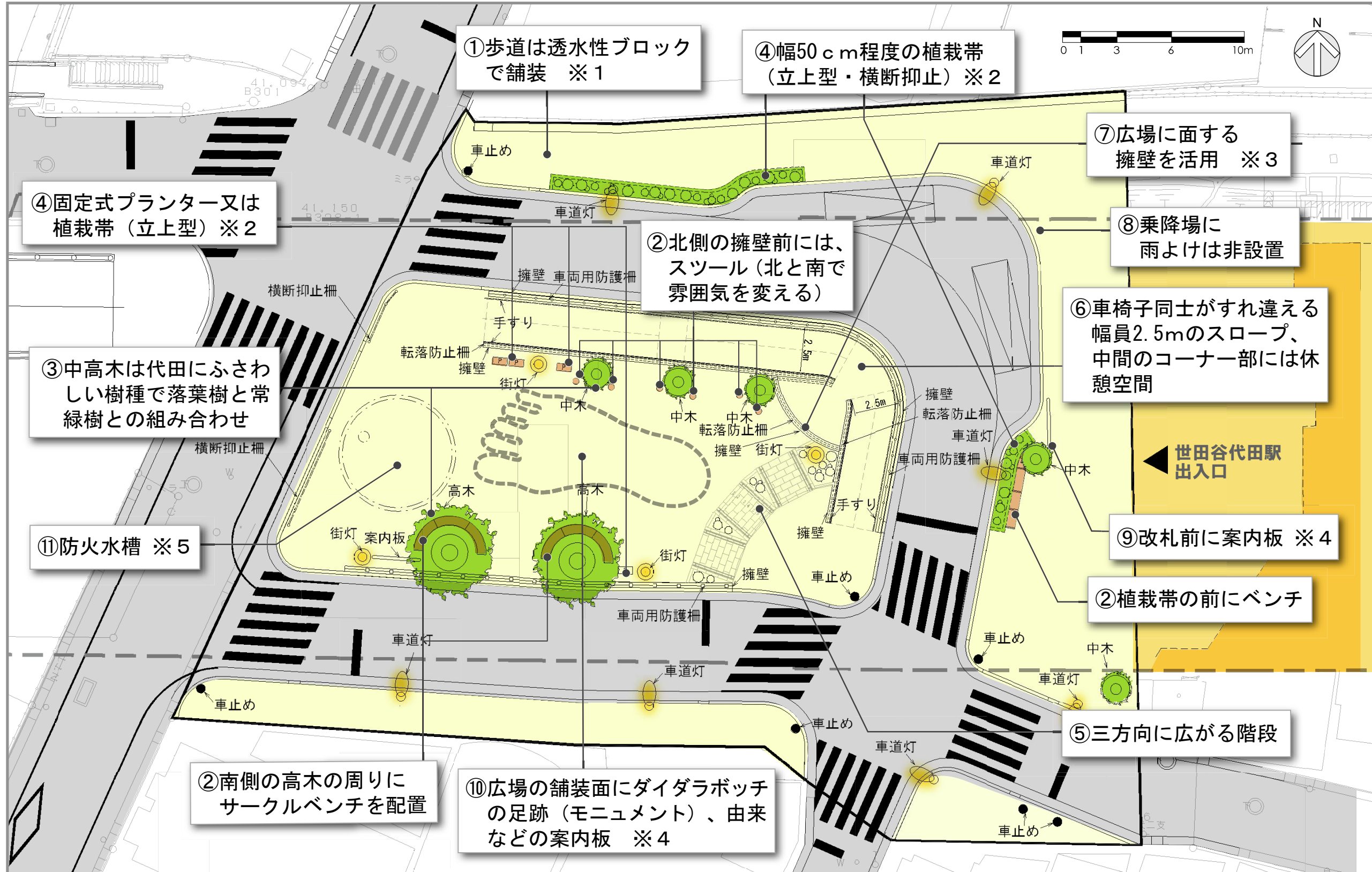
第1回ワークショップ(9月30日)の検討内容		第2回ワークショップ(11月18日)の検討内容		第3回ワークショップ(1月20日)の検討内容				
第1回で頂いたご意見 A, B, Cは発言のあったグループ名		第2回(デザインゲーム)で頂いたご意見		意見の とりまとめ	整備箇所 整備内容	第2回までの意見で作成した 整備検討案に反映した整備内容	第3回で頂いたご意見 ●は参加者の意見 下線は、世田谷区からの提案・助言	ワークショップ 整備案への 反映結果
駅前広場のイメージ	全体のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●世田谷代田の顔になる場(駅を出てすぐ見える) A ●お祭りやイベントが出来る広場に A ●広場で盆踊り、みこしの中継地点 B ●ストリートミュージシャンも楽しめる広場 A ●イルミネーションなどクリスマスや季節を感じられる場所 B ●広場に入りやすくする A ●広場はなるべく平地で使いやすい空間 C ●子供たちの学びの空間 B ●イベント空間と駅前広場の仕上げを変える(イベント空間はおもてなしの空間として明るく綺麗にし、駅前広場は使いやすい空間に) C ●散歩で一息つけるスペースとして機能できないか A ●街のイメージが伝わるデザインとしたい B ●段差なく、明るいエントランス(広場) C ●景観への配慮をしたデザイン B ●丁寧なデザインでよい雰囲気 A ●神社のような雰囲気、土、樹木 A ●歴史性を大切にしたい B ●武蔵野のおもかげ A ●自然と人工物をうまく調和させる A ●緑化の重点スポット 散歩中の一息 A ●商店街の意見もコラボレーションしながら、広場の活用や街の活性化 C ●タウンマネジメント B 		<ul style="list-style-type: none"> ●上品で静かさがあつたほうがいい、日常の静かな街にしたい ●世田谷代田、上品で静か、ハイソサエティ、日常の静けさ ●住宅地の中にある存在感のない駅 それを活かしたい、静かだから良い ●駅の存在感がないので、インパクトを ●特徴のない駅なので、そこを何とか工夫できないか ●何も無いのが世田谷代田らしい ●地元が使いやすい 不意の人(外の人)が来た時の視線 ●お年寄りが散歩がてらひなたぼっこできる広場 ●歴史を伝える広場にしたい 商店街なども使えるように ●町のイメージは、村の中に人が住んでいるという感じ ●世田谷代田の歴史 富士山の話 ●「三土代会」には、先祖から400年住んでいる方がいっぱいいる ●神社が近くにある 「代田」だし、田んぼがあつて民話が残る 	世田谷代田駅前広場 しつらえのイメージ ① 日常の静かな生活を継承する ② 代田の歴史・祭事・民話を後世に伝える ③ 誰もが安全・安心に利用できる玄関口	駅前広場(全体)の整備について	(了解)	<ul style="list-style-type: none"> ●上部利用の計画の色・デザイン・材質にあわせて、だれでも利用しやすい駅前広場として整備
	駅前設備の整備	眺望	<ul style="list-style-type: none"> ●富士山とスカイツリーが同時に見えるように A ●富士山が見えるように! 「広く」使える B ●富士山の眺望を大切に C 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常的な利用を前提に考えるべきでは、また、逆か? ●土日には露店を出したらどうか ●おもちつき、おみこし 一出来るように ●小学生の作品をおく場所に 一広場の外壁、立ち上がりを利用 ●モニュメントなど、そのような広場をつくりたい 	駅前広場の整備コンセプトについて			
整備計画について	広場の有り方	<ul style="list-style-type: none"> ●広場のまわりを車が移動すると、人にやさしい広場にならない C ●車に囲まれた広場は使いづらい ロータリーのようにになってしまう A ●駅前広場の活用の仕方は 一「駅利用」って当たり前なので B ●駅利用を調べた上での利用方法 B ●区の広場の認識について? 全体化? 交通島か? B 		広場の構造		<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心を中心に、多くの人が利用することにも配慮(公共性) ●ユニバーサルデザインを中心につくってもらいたい ●ものを作るのではなくソフトでなんとかする 「モノを作り込まない」ユニバーサルデザインは残す ●基礎だけはしっかり作って状況が変わったら対応できるように ●柔軟に対応できる広場 何か起きた時に警察と話してよい形になるように ●広場を含めてフレキシブルに 例えば、交通量が増えたり、木が大きくなったりした時など ●ロータリーあると近くまでいけて良いと思う ●送り迎え車を入れたら良いが、帰りはどうするのか(Uターン) ●交通量は変化するので、柔軟に対応できるように ●車を立ち入り禁止なども大事なのでは 	駅前広場の整備コンセプトについて	<p>頂いたキーワード</p> <p>地上から富士山が見える ゆっくりにゆったり小さな駅、 ダイダラボッチの国づくりと富士山、 民話が伝わる、 歴史を継承する、 日常の穏やかな代田村、 継承される、つむぐ、続く、つながる、伝わる、 歴史になるむら、 富士山と民話の足あとが継承される、 村は"むら"ひらがなで</p> <p>整備コンセプト</p> <p>おだやかな日常が歴史になるむら ～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～</p>
	車の通行	<ul style="list-style-type: none"> ●なぜ新規の道路は直交させないのか? 事故のもと! B ●南側歩道(幅員2m)をもう少し広くできないか?(幅員2.5m) C ●車が駅前に入る必要はない 広場の人が安心できる空間にしたい B ●車両が入るとキケン! (自転車、子供、お年寄り) B ●普通車は進入禁止(緊急車のみ) B ●緊急車両だけでなく、車、タクシーは入れるのか? C ●車と歩行者との共存(歩く速度で通過) A ●交通規制(時間利用) B ●一方通行か? B 	<ul style="list-style-type: none"> ●上部利用との関係 ●車を入れてスムーズにいくように上部と一緒に考えたい 		駅前広場の整備コンセプトについて			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●駅勢圏の考え方は? B 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●世田谷代田駅がなくなる時、お別れ会をした ●またできたなら「完成会」をしたい ●管理するための掃除箱を小田急にお願いするには ●デザインゲームについてモニュメントなどが入らない ●梅丘中の生徒も通る 	(特になし)		駅前広場の整備コンセプトについて	<p>頂いたキーワード</p> <p>地上から富士山が見える ゆっくりにゆったり小さな駅、 ダイダラボッチの国づくりと富士山、 民話が伝わる、 歴史を継承する、 日常の穏やかな代田村、 継承される、つむぐ、続く、つながる、伝わる、 歴史になるむら、 富士山と民話の足あとが継承される、 村は"むら"ひらがなで</p> <p>整備コンセプト</p> <p>おだやかな日常が歴史になるむら ～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～</p>	
広場の周囲・交通環境計画	連続性と広場の	<ul style="list-style-type: none"> ●車が通り抜けにならないような道路作り A ●すぐとなりの道が交通量の割に狭く、子供が多いのに危ない ●より車の交通量が多くなると心配 A ●環七側道がいい雰囲気を通りなので、それを守って更に高めたい A ●代田小へ安全な通学路の確保 A ●広場周辺の車が多くなるのでは? A ●自転車、歩行者、交通量調査の結果は? B ●スクランブル交差点にしては B ●道の時間規制とかで安心安全な街づくりにしてほしい B 		その他	<ul style="list-style-type: none"> ●上部利用に係ることと思いますが、羽根木公園への歩道(緑道)と一体化した設計を望みます C ●さらに北沢川緑道ともつなげて世田谷区内の緑道のネットワークを広げて欲しい C ●代田小学校への通学路としての機能を考慮してほしい C ●北口へのアプローチへの外灯強化 C ●北口への通路の整備 C ●広場を含め駅周辺の禁煙化を C 			駅前広場の整備コンセプトについて
	自転車	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車が入れないような工夫 C ●放置自転車を防ぐ工夫 B 	<ul style="list-style-type: none"> ●上部利用に係ることと思いますが、羽根木公園への歩道(緑道)と一体化した設計を望みます C ●さらに北沢川緑道ともつなげて世田谷区内の緑道のネットワークを広げて欲しい C ●代田小学校への通学路としての機能を考慮してほしい C ●北口へのアプローチへの外灯強化 C ●北口への通路の整備 C ●広場を含め駅周辺の禁煙化を C 			駅前広場の整備コンセプトについて	<p>頂いたキーワード</p> <p>地上から富士山が見える ゆっくりにゆったり小さな駅、 ダイダラボッチの国づくりと富士山、 民話が伝わる、 歴史を継承する、 日常の穏やかな代田村、 継承される、つむぐ、続く、つながる、伝わる、 歴史になるむら、 富士山と民話の足あとが継承される、 村は"むら"ひらがなで</p> <p>整備コンセプト</p> <p>おだやかな日常が歴史になるむら ～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～</p>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●今後の資料 ●横から見た図(イラスト有り) A ●3Dのモデルを作っては A ●商店街(活性化)の意見を取り込む C 	<ul style="list-style-type: none"> ●上部利用に係ることと思いますが、羽根木公園への歩道(緑道)と一体化した設計を望みます C ●さらに北沢川緑道ともつなげて世田谷区内の緑道のネットワークを広げて欲しい C ●代田小学校への通学路としての機能を考慮してほしい C ●北口へのアプローチへの外灯強化 C ●北口への通路の整備 C ●広場を含め駅周辺の禁煙化を C 	駅前広場の整備コンセプトについて	<p>頂いたキーワード</p> <p>地上から富士山が見える ゆっくりにゆったり小さな駅、 ダイダラボッチの国づくりと富士山、 民話が伝わる、 歴史を継承する、 日常の穏やかな代田村、 継承される、つむぐ、続く、つながる、伝わる、 歴史になるむら、 富士山と民話の足あとが継承される、 村は"むら"ひらがなで</p> <p>整備コンセプト</p> <p>おだやかな日常が歴史になるむら ～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～</p>				

※ 第1回目と第2回目で頂いたご意見等は、ワークショップの検討中にお配りしたものと順番を替えて整理を行いました。

世田谷代田駅前広場 ワークショップ整備案

整備コンセプト

おだやかな日常が歴史になるむら
～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～



今後の留意事項

- ※1 歩道の色は、上部利用計画との連続性を考慮 ①
- ※2 協定等により住民グループが維持管理する花壇を設置 ④
- ※3 広場内の壁面は、地域の意見や要望を取り入れたデザインや利用ができるようシンプルに整備 ⑦

- ※4 案内板等については、関係機関と協議をして設置 ⑨、⑩
- ※5 防災施設等は、上部利用計画にあわせて必要な施設を設置 ⑪

凡例

- ① ○○○○ ワークショップ整備案で決めた整備内容
- ①～⑪: 番号は、2～3ページの「ワークショップ整備案への反映結果」の番号と対象しています。
- ①舗装 ②ベンチ ③みどり ④プランター・植栽帯
- ⑤階段 ⑥スロープ ⑦壁面 ⑧乗降場・シェルター
- ⑨案内板 ⑩モニュメント ⑪防災施設